



上下水道局

要求総額 91,831百万円

(対前年度 +5.3%)

収益的収入 50,456 百万円

収益的支出 50,990 百万円

差引 ▲ 534 百万円

単年度資金収支 ▲2,543 百万円

【令和5年度 経営方針】

上下水道局では、令和3年3月に策定した「上下水道事業基本計画 2030（計画期間：令和3～12年度）」及び「上下水道事業中期経営計画 2025（計画期間：令和3～7年度）」に基づき、着実に事業を推進するとともに、経費節減や増収対策など、経営基盤の強化に努め、「お客さまに信頼される上下水道」を目指します。

具体的には、上下水道施設の長寿命化や改築・更新、災害対策などに取り組むとともに、本市の持つ高い上下水道技術を国内外で活用し、上下水道事業の発展的広域化や国際貢献の推進に取り組めます。

(単位：百万円)

	予算要求額		収益的収支			単年度 資金収支
		前年度比	収入	支出	差引	
水道事業	34,505	1.1%	20,085	20,457	▲372	▲1,721
水道用水供給事業	1,217	14.0%	905	899	6	▲9
上水道事業	35,722	1.5%	20,990	21,356	▲366	▲1,730
工業用水道事業	3,866	34.4%	1,999	1,909	90	▲300
下水道事業	52,243	2.8%	27,467	27,725	▲258	▲513
計	91,831	5.3%	50,456	50,990	▲534	▲2,543

【令和5年度予算の基本的な考え方】

●上下水道施設の強靱化 要求額 20,184百万円 (対前年度 +4.7%)

長期的な観点から施設規模や機能の最適化を図りながら、更新時期を迎える上下水道施設の長寿命化、改築・更新に取り組むとともに、豪雨や地震といった災害に強い上下水道施設の整備などを進め、市民の生活を守ります。

- ・上下水道施設の長寿命化と改築・更新
- ・豪雨対策の拡充・強化
- ・震災対策の拡充・強化
- ・危機管理体制の充実・強化

●環境負荷の低減 要求額 1,740百万円 (対前年度 +5.0%)

水環境の向上や、資源の有効利用などによる環境負荷低減を推進します。

- ・合流式下水道の改善推進
- ・水質監視強化
- ・**新**再生可能エネルギーの活用
- ・省エネルギーの推進
- ・**新**下水汚泥の肥料化

●国内外への貢献 要求額 1,425百万円 (対前年度 +3.9%)

北九州都市圏域の中核都市として、上下水道事業の発展的広域化や、SDGsの達成に寄与する国際貢献の取り組みを推進し、併せて、本市職員の技術力・実務能力の向上も図ります。

- ・多様な広域連携の推進
- ・外郭団体等との連携強化
- ・海外事業の展開

●DXの推進 要求額 43百万円 (対前年度 ▲20.1%)

- ・AIを活用した水道管の劣化診断
- ・**新**衛星画像とAIを活用した漏水調査 など

令和5年度 上下水道局予算 主要事業一覧

(1) 上下水道施設の強靱化

長期的な観点から施設規模や機能の最適化を図りながら、更新時期を迎える上下水道施設の長寿命化、改築・更新に取り組むとともに、豪雨や地震といった災害に強い上下水道施設の整備などを進め、市民の生活を守ります。

■上下水道施設の長寿命化と改築・更新 14,722,292千円

上下水道事業を持続していくため、長期的な視点に立って効率的・計画的な上下水道施設の改築更新を進めます。

【アセットマネジメント手法を活用した効率的・計画的な更新】

- ・配水管等の更新 5,568,757千円
配水管更新 (L=32.4km)、導送水管更新 (L=0.7km)
- ・浄水施設の更新 1,552,742千円
伊佐座取水場特高受変電設備更新電気計装工事 など
- ・工業用水道施設の改築更新 1,388,296千円
本城浄水場小竹系沈殿池長寿命化工事 など
- ・下水道施設の改築更新 4,664,225千円
日明浄化センター特高受変電設備改良 など

【上下水道施設の規模の最適化】

- ・配水ブロックの改善 66,440千円
尾倉、黒川配水池の統廃合
- ・下水道施設の再編 890,000千円
若松ポンプ場の整備、皇后崎・北湊処理区の再編、
皇后崎浄化センターの再構築 など

■豪雨対策の拡充・強化 2,955,055千円

近年、局地化、集中化する豪雨から市民の生活を守るため、効果的に施設整備を進めていきます。

- ・浸水被害の最小化《一部再掲》 2,890,000千円
門司駅前雨水施設築造、上葛原二丁目調整池、
昭和町雨水貯留管の整備 など

■震災対策の拡充・強化

7, 841, 512千円

大規模な地震が発生した場合においても、水道の安全で安定した給水、下水道の最低限の水処理機能を維持するため、防災・減災の観点から、施設の耐震化やバックアップ機能の強化などを図っていきます。

- ・浄水場・配水池の耐震化 270,643千円
 小熊野第一配水池の耐震化工事 など
- ・水道管路の耐震化《再掲》 5,568,757千円
 配水管等の更新
- ・浄化センター、ポンプ場の耐震化 250,000千円
 払川ポンプ場耐震補強工事 など
- ・下水道管渠の耐震化 1,532,612千円
 日明遮集幹線、東二島北湊主要幹線管渠更生 など
- ・バックアップ機能の強化 219,500千円
 八重洲～城野分岐送水管整備 など

■危機管理体制の充実・強化

457,757千円

気候変動の影響による自然災害の増加などさまざまな災害リスクに備え、緊急時においても、安定給水、安定処理ができる体制を確保していきます。

- ・停電対策 128,357千円
 山ノ岬ポンプ場非常用発電機整備工事
- ・災害時における機能確保の推進 25,400千円
 応急給水施設整備工事、マンホールトイレの整備
- ・自助・共助の促進に向けたソフト施策の充実 304,000千円
 内水浸水想定区域図の拡充、雨水タンク助成事業

(2) 環境負荷の低減

水環境の向上や、資源の有効利用などによる環境負荷低減を推進します。

■合流式下水道の改善推進 1,600,000千円

下水道法施行令で定められた期限(令和5年度末)までに放流先の汚濁負荷を分流式下水道並みに軽減し、良好な水環境をつくれます。

- ・清田地内、西本町地内、屋敷地内
- ・日明浄化センター合流改善施設 など

■水質監視強化 33,440千円

下水道施設の保全や浄化センターの安定的な運転を目的として、下水処理に影響を及ぼす物質の監視強化を図ります。

■再生可能エネルギーの活用 40,000千円

北湊浄化センターにおいて、第三者所有方式による太陽光発電設備の設置に向けた用地整備を行います。

■省エネルギーの推進 38,387千円

電気使用量及び二酸化炭素排出量の削減を図るため、ポンプ設備の適正化などにより省エネルギー対策を実施します。

- ・穴生浄水場東西系送水ポンプ更新工事 など

■下水汚泥の肥料化 20,000千円

下水汚泥の肥料化に向けた検討など、資源の有効利用の取組を進めます。

(3) 国内外への貢献

北九州都市圏域の中核都市として、上下水道事業の発展的広域化や、SDGsの達成に寄与する国際貢献の取組を推進し、併せて、本市職員の技術力・実務能力の向上も図ります。

■多様な広域連携の推進 23,833千円

近隣自治体との連携を強化し、双方にメリットを享受できる広域連携の具体化に向けた取組を推進していきます。

■外郭団体等との連携強化 1,225,041千円

外郭団体((株)北九州ウォーターサービス)との連携を強化するとともに民間事業者の活用を図り、発展的広域化を推進します。

- ・宗像地区水道施設維持管理等業務委託

■海外事業の展開

176,202千円

SDGsの目標6「安全な水とトイレを世界中に」の達成へ寄与するため、上下水道の国際技術協力に取り組みます。

さらに、協力関係で培った信頼や人的関係を基に、「北九州市海外水ビジネス推進協議会」との官民連携により、本市経済の活性化に繋げるため、海外水ビジネスを推進していきます。

(4) DXの推進

■AIを活用した水道管の劣化診断

20,000千円

AIにより、これまで活用ができていなかった気温、降水量、地域性など周辺環境情報等の変数を用いた水道管路の劣化診断を行います。

■衛星画像とAIを活用した漏水調査

9,434千円

人工衛星から照射されるマイクロ波で、漏水箇所を判定する技術を用いた漏水調査の実証実験を行います。

■給水装置工事及び排水設備工事申請の電子化

5,643千円

給水装置工事及び排水設備工事申請について、申請者がインターネットで申込み手続きができるようにし、事務の簡便化・迅速化を図ります。

■工事立会受付WEBシステムの導入

3,960千円

工事施工前の申請手続きにおいて、立会受付WEBシステムを活用し、道路掘削事業者とインフラ事業者（電気・ガス・水道等）が工事情報を共有することで、作業の効率化を図ります。